



師走です。串木野高校校長です。よろしくお願いいたします。

今回のテーマは、「 **12月**は**師走** 」です。

12月に入りました。師走(しわす)です。師も走るような忙しい月、師走。でも、「師」って、誰でしょうか？先生方は走り回るのでしょうか？と思いきや、もともとは学校などの先生を指すものではないのだとか。じゃあ一体誰でしょう？

●説その1・お坊さん

師とはお坊さんだ、という説。この月になると、各家庭で法事を行うため、お坊さんが忙しくなるから、といえます。除夜の鐘の準備も？

●説その2・御師

御師(おし・おんし)とは、寺社にお参りに来た人たちの世話役のこと。この説はあまり一般的ではないようです。

●説その3・そもそも人ではない

四季の終わりの月、「しはつ(四極)月」の音が変わって「しわす」になったのだという説。また、ほぼ同じような意味で年の終わり「としはつる(歳極・年果)」月→文頭と文末が1文字ずつ落ちて「しはつ」→「しわす」、という説などもあります。

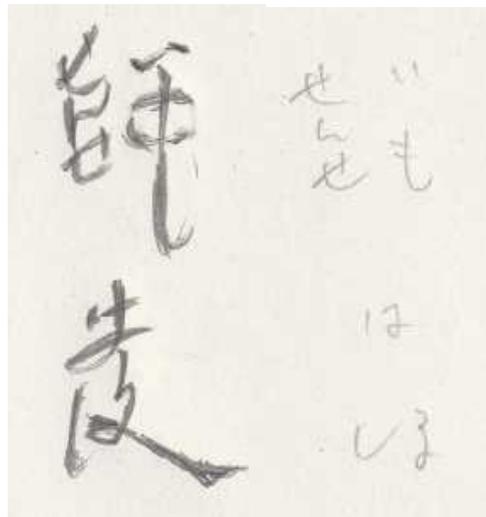
ということのようです。

**結論：学校の先生であってもなくても、誰だって、12月**はやはりとても忙しい月。

**いよいよ寒くなってきましたし、体調に充分気をつけて、楽しい年末年始を迎えましょう！**

慌ただしくなるのは間違いないものの、交通安全に気を付け、穏やかな年末・新年を迎えたい、という気持ちです。保護者の皆様方も、慌てず、焦らず、年の瀬を過ごしてまいりましょう。

「師走」を「せんせいもはしる」で書いてみました。  
はしる が 走 って、なかなかリアルですね。 →→→



先月末に、「 mismatch を無くす進路指導とキャリア教育」という講演会を聞く機会がありました。

現在の小1生のうち、65%(半分以上!)が、今は存在しない仕事に就くそうです。確かに、インターネットが発展してきてから、まだ30年は経っていませんが、その30年で世の中は、本当に大きく変わっています。今更ながら、スマホの無い世の中は想像できませんよね。

必要なのは、「状況に応じて、自分でハンドルを握る力」を持つことのようにです。変化していることなど列挙すると、

- ・一生涯同じ会社で過ごすか、転職するか
- ・大卒の給与と、高卒の給与の異なり
- ・大学での中退率、非正規雇用率
- ・英語が出来るということが当たり前になる世界
- ・自分の人生を自分でつくる時代 などがあろうようです。

中教審会長の荒瀬克己氏は、学んだ知識だけでなく、「学ぼうとする力」が大切であると言います。

「普通の人生の基本形」とは、何でしょう？ 悩み、考えながら、生き抜かねばなりません。

師走で、走る、といっても、慌てて走らず、落ち着いて、ゆっくりと左右を見て、安全に走りましょう。風邪？インフルエンザ？も流行り始める季節です。お体ご自愛くださいませ。

12/3~12/9は、障害者週間。12/4~12/10は、人権週間。赤い羽根共同募金も。

串木野高校 頑張っています。

校長 堂蘭

赤い羽根共同募金

